

高等学校 令和7年度 教科
教 科： 芸術
対象年次： 2, 3, 4
教科担当者： ①： 藤倉 ②： 藤倉 ③： 藤倉 ④： 藤倉 ⑤： 藤倉 ⑥：
⑦： ⑧： ⑨： ⑩： ⑪： ⑫：
⑬： ⑭： ⑮： ⑯： ⑰： ⑱：)

科目 書道 I
単位数： 2 単位

使用教科書： (書道 I 東京書籍)

教科 芸術

【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

の目標： 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けようとする。
書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情と育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

の目標： 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現、形式、多様性を理解している	書の良さや、美しさを感じ、味わいを捉える	主体的に書の表現に幅広く取り組む

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			漢	漢	仮						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 書道用具、用材についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 書体を考え、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に幅広く取り組む	・指導事項 書写から書道へ ・教材 用具、用材について ・教科書を手本とする			○		【知識・技能】 用具、用材の理解できたか 【思考・判断・表現】 自身判断して、運筆できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の表現にもとずいて、主体的に取り組めたか	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 楷書の筆使いと名称 楷書の筆の使い方 【思考力、判断力、表現力等】 名称を理解しての運筆ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 楷書の基本点画を主体的に取り組めたか	・指導事項 楷書の基本点画の学習 ・教材 教科書参考とプリント			○		【知識・技能】 楷書の太筆の使い方 【思考・判断・表現】 名称を理解しての運筆ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 楷書の基本点画を主体的に取り組めたか	○	○	○	6
	自身好みの文字を探す。 書体も考える。二種類は探す。 興味のある方文字を見つける	・指導事項 文化祭展示作品作成 ・教材 書体字典 等			○		【知識・技能】 練習の成果 【思考・判断・表現】 半紙と文字とのバランスはどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 選んだ文字の完成	○	○	○	6
	自身好みの文字を探し練習 書体も考える。字典も使用 二種類は探す。興味のある方文字を見つ ける	・指導事項 文化祭作品完成 ・教材 書体字典 等			○		作品清書、完成提出 半紙、文字、名前、全体のバランス。 作品清書できたか	○	○	○	6
2 学 期	楷書の古典作品名と特徴について 楷書との違いの理解 古典作品を理解と興味	楷書古典作品 孔子廟堂碑 教科書			○		楷書古典作品運筆技能の取得	○	○	○	16
	行書の書体書風、筆使い、楷書との違い を知る。 行書の特徴を理解する。	行書古典作品 蘭亭序 教科書			○	○	行書基本点画の取得。 行書の特徴の理解 行書作品に興味を持てたか	○	○	○	16
3 学 期	中色紙作品文字選び 一年集大成の作品とする 楷書、行書共に考える	学習発表会展示作品 書体字典			○	○	中色紙サイズでの練習	○	○	○	10
	中色紙作品文字選び 一年集大成の作品とする 楷書、行書共に考える	学習発表会展示作品 書体字典			○	○	作品清書、完成 全体のバランス 集大成	○	○	○	4
					○	○					合計 70

高等学校 令和7年度 教科 芸術 科目 工芸 I

教科： 芸術 科目： 工芸 I 単位数： 2 単位

対象年次： 2, 3, 4 年次 (再履修除く)

教科担当者： ①： 黒田千紘 ② 黒田千紘 ③ 黒田千紘 ④ ⑤ ⑥

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

使用教科書： (日本文教出版 工芸 I)

教科 芸術 の目標： 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

科目 工芸 I の目標： 工芸の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
素材の特性を理解し、自身が作りたいと思う造形をかたちづくることができる。 学んだ技法や自身の経験を制作に活かすことができる。	美しい形や使いやすい形を自分なりに考え、こだわりを持った構想を練る。 伝統工芸品や生徒同士の作品を鑑賞し、作品の良さや特徴を感じ、自身の制作に反映させる。	様々な素材や技法に触れ、それぞれの良さを知る。 工芸作品の歴史的価値や現状を理解し、工芸へ向かう自分なりの考えを持つ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	鑑 賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A単元 【知識及び技能】 仕上がり有形を想定して制作できる。 【思考力、判断力、表現力等】 丸みを帯びた形状に向いている特性を理解したデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 郷土玩具に使用されている技法であるはこの良さを取り入れた制作ができる。	・指導事項 はりこ ・教材 等 プリント、教科書、パワーポイント、新聞、ガムテープ、半紙(和紙)、ジェッツ、アクリル絵の具	○	○	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 技法の特性を活かした制作ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 素材や技法の良さを取り入れた作品を制作できたか。	○	○	○	16
	B 単元 【知識及び技能】 素材の扱い方を学び、表現したい図柄を描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 螺鈿の特徴を活かしたデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が美しいと思うデザインを表現できる。	・指導事項 螺鈿 ・教材 等 プリント、教科書、のこぎり、やすり、デザインカッター、木材、水性ウレタン漆、青貝シート		○	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 螺鈿の色合いや雰囲気を活かした作品を仕上げられたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現したいと思ったことを表現できているか。	○	○	○	8
2 学期	B 単元 【知識及び技能】 素材の扱い方を学び、表現したい図柄を描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 螺鈿の特徴を活かしたデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が美しいと思うデザインを表現できる。	・指導事項 螺鈿 ・教材 等 プリント、教科書、のこぎり、やすり、デザインカッター、木材、水性ウレタン漆、青貝シート		○	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 螺鈿の色合いや雰囲気を活かした作品を仕上げられたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現したいと思ったことを表現できているか。	○	○	○	8
	C単元 【知識及び技能】 金属の加工の仕方を学び、意図した形に成形できる。 【思考力、判断力、表現力等】 機能と美しさを兼ね備えたデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実用性とデザイン性を重視し、使いたくなるものを作れるようになる。	・指導事項 真鍮ペーパーナイフ(金工) ・教材 等 プリント、教科書、糸のこぎり、やすり、研磨剤、真鍮板	○	○	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 機能とデザイン性を兼ね備えた作品ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 使う人のことを想定した作品を作れたか。	○	○	○	24
3 学期	D単元 【知識及び技能】 成形技術を学び、目的に応じた形を作れるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 用途や使用場面を想定した器の形を考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活に根付いた工芸技術であることをふまえて、使う人や場面を想定したもののづくりができるようになる。	・指導事項 陶芸 ・教材 等 プリント、教科書、パワーポイント、粘土、手回しろくろ、たたね板、のぼし棒	○	○	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 使用する場面や用途を想定した制作ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に日常で使用することを想定した作品が作れたか。	○	○	○	8
	E単元 【知識及び技能】 七宝絵の具の適切な取り扱いができる。 【思考力、判断力、表現力等】 限られた焼成回数でできるデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 こだわりを持って制作ができる。	・指導事項 七宝 ・教材 等 プリント、教科書、パワーポイント、銅板、七宝絵の具	○	○	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 仕上がりまでの段取りを逆算して制作ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 こだわりを持って制作できたか。	○	○	○	6 合計 70